

## 序論

インドネシア語では「はず」は、'pasti', 'seharusnya', 'mestinya' と言う意味があって、日本語と同じような意味を現れることがある。日本語では、「はず」と言うのは、自分の経験や記憶を話すの場合に使われる。だが、日本語では、「はず」と言うのは、どのような使い方があるか、また、どのような意味を持つか、まだ調べられた事ことがないですから、この論文で、「はず」についてを調べられる。

## 本論

日本語の文法の品詞分類の中で、名詞と言うのは、四つに分けられて、それは普通名詞、固有名詞、代名詞、数詞、と形式名詞である。富田さんは、Practical Japanese Workbooks II (1993:28) の中で、形式名詞と言うのは、

“上のように動詞や文お後に「事」をつけると文全体が名詞のようになる。”と言われて、その一つの形式名詞は、「はず」と言う形式名詞がある。

森田さん(1980:412)

は、“「はず」と言うのは、そう判断する論理的根拠があることを示す、直接証拠を取り上げる場合も、自分の記憶をその根拠としていると言える。”といわれる。モダリティの中では、「はず」というのは、対時的モダリティと言うエピステミクモダリティに入れ、可能性や判断などの意味を表せる。

「はず」と言うのは、**適当な意味**を持ちするために、どのような品詞を付かれるか、以下のSTRUCTUREや文型を見よう、

1. 可能性を表す

<b>動詞</b>	動詞+ ない+ はず  かなりひどい台風だから、彼は来ないはずだ。
<b>名詞</b>	名詞+ ない+ はず  誰もそいつを見ていたものはないはずだ。
<b>形容詞</b>	形容詞+ ない+ はず  三月の夜は長く ないはずだ。

2. 話し手の判断

- 当然の予測

動詞	<p>動詞(<i>nonpast</i>) + はず</p> <p>調べれば分かるはずだ。</p>
名詞	<p>名詞+ の + はず</p> <p>教は日曜日だから、どこでも休みのはずです。</p>
形容詞	<p>形容詞(<i>nonpast</i>) + はず</p> <p>おいしいはずですよ。高いワインなんですから。</p>

- 納得

動詞	<p>動詞(<i>past</i>) + はず</p> <p>あなたに頼んだはずですが。</p> <p>動詞(<i>past</i>) + はずだった</p> <p>動詞(<i>nonpast</i>) + はずだった</p>
----	---

	初めの計画では、道路はもっと北側を通るはずだった。
<b>名詞</b>	名詞( <i>past</i> ) + はず  名詞 + の + はずだった  お前さんは、何をしたらいいかを知ってる人間のはずだった。
<b>形容詞</b>	形容詞( <i>past</i> ) + はず  形容詞( <i>nonpast</i> ) + はずだった  三人姉妹のばんさいはとても楽しいはずだったのに。

### 3. 決定

<b>動詞</b>	動詞 + ない + はず(は/が) ない  こんなややこしい話が子供に分かるはずがない。
<b>名詞</b>	名詞 + ない + はず(は/が) ない

<b>形容詞</b>	<p>形容詞 + ない + はず(は/が) ない</p> <p>これは金だから、高くないはずはない。</p>
------------	--

#### 4. 不可能性

<b>動詞</b>	<p>動詞(<i>nonpast</i>) + はず(は/が) ない</p> <p>あきらかさんが入試に落ちるはずがないよ。</p>
<b>名詞</b>	<p>名詞 + の + はず(は/が) ない</p> <p>鍵がない? そんなはずはない。さっき机の上においたんだから。</p>
<b>形容詞</b>	<p>形容詞(<i>nonpast</i>) + はず(は/が) ない</p> <p>そんな高い物は質が悪いはずがない。</p>

## 結論

形式名詞の「はず」は、どんな意味を持ちか、どんな品詞に付けられるか、次の結論を引き出すことができる:

1. 「はず」は、「名詞」、「動詞」、「形容詞」、や「形容動詞」を付けられる。
2. 「はず」の意味は、「可能性」、「話し手の判断」、「決定」、や「不可能性」を表す。
3. 否定形の「～ない」、「から」、「まで」、「～が」、「～のに」、「～ば」も、「はず」の意味が変わる事も出来る。

# DAFTAR ISI

<b>KATA PENGANTAR.....</b>	<b>iii</b>
<b>DAFTAR ISI.....</b>	<b>v</b>
<b>BAB I Pendahuluan</b>	
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Rumusan Masalah.....	8
1.3 Tujuan Penelitian.....	9
1.4 Metode Penelitian dan Tehnik Kajian.....	9
1.5 Organisasi Penulisan.....	10
<b>BAB II Kajian Teori</b>	
2.1 Sintaksis.....	11
2.2 Semantik.....	15
2.3 <i>Hinshibunrui</i> .....	18
2.3.1 <i>Meishi</i> .....	19
2.3.2 <i>Keishikimeishi</i> .....	21
2.4 Modalitas.....	23
2.5 はず.....	25
<b>BAB III Analisis はず Dalam Kalimat Bahasa Jepang</b>	
3.1 ~はず.....	29
3.2 Rangkuman Analisis.....	50

<b>BAB IV Kesimpulan.....</b>	<b>54</b>
<b>DAFTAR PUSTAKA.....</b>	<b>57</b>
<b>LAMPIRAN.....</b>	<b>vii</b>
<b>SINOPSIS.....</b>	<b>xxiii</b>
<b>Riwayat Hidup Penulis.....</b>	<b>xxix</b>